

# Hironobu Saito



西藤 ヒロノブ (Guitar/Ukulele)

宮崎県生まれ。  
1999年より奨学金を得てボストンパークリー音楽大学へ渡米。Joe Lovano, Mick Goodrick, Richie Hart, Hal Crook, Mark Whitfield, 小泉清人らに師事。2002年、ギター科を代表して、Peter BernsteinとDuo共演。2003年、Guitar Achievement Awardを受賞。  
2004年、スペインの名門レーベル、フレッシュサウンドレコードより日本人初のアーティストとしてCDデビュー。2010年、本邦初のアルバム「Reflection」をリリース。レパトリーにウクレレを加え、アイランド・ジャズという新たなジャンルを開拓しはじめた。2011年、第23回ミュージックペンクラブ音楽賞ベスト・ニュー・アーティストを受賞。同年、Al Jarreau & JAZZ FOR JAPAN ALLSTARS featuring Hubert Laws, Tom Scott etc.の一員として、大阪と東京のビルボードライブでの公演に参加。2012年、リチャード・ボナラが参加した5枚目のアルバム「Alfie」をリリース。2013年、6枚目のアルバム「Golden Circle」をYamaha Music & Visualsよりリリース。2014年、初のライブDVDをアトス・インターナショナルよりリリース。  
これまで、米国モントレージャズフェスティバル、韓国Jarasum International Jazz Festival、NY Ukulele Festival、ブルーノートNYなどに出演。ニューヨーク、ハワイ、ヨーロッパ、カメルーン、北中南米、アジア諸国、日本など世界各地で演奏活動を行っている。アイバニーズギター (Ibanez Guitars) オリジナルシグネチャーギター「The Sea」を使用。その他、アコースティックギターをYAMAHA、ウクレレをKoAloha Ukulele (Oahu)、Kamoa Ukeleles (Kauai)、アンプをMark Acoustic (Italy)、弦をDR STRINGS等とエンドースしている。  
www.hironobusaito.cc

## DVD



2014  
**LIVE LAB.048**  
西藤ヒロノブ カルテット  
(ATLB-648)  
アトス・インターナショナル

## HIRONOBU SAITO DISCOGRAPHY

### CD



2004  
**The Remaining 2%**  
(FSNT179)  
フレッシュサウンドレコード



2006  
**The Sea**  
(FSNT266)  
フレッシュサウンドレコード



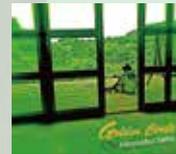
2008  
**The Rain**  
(FSNT326)  
フレッシュサウンドレコード



2010  
**Reflection**  
(QACK-35020)  
T&Kエンタテインメント



2012  
**Alfie**  
(QACK-35030)  
T&Kエンタテインメント



2013  
**Golden Circle**  
(YMCJ-10020)  
ヤマハミュージックアンド  
ヴィジュアルズ



**Milton Fletcher**  
ミルトン・フレッチャー (Piano/Key)

1983年、カリフォルニア生まれ。  
13才の頃、Monterey Jazz Festivalに自己のトリオで出演。以後、スイス、イタリア、フランス、スペインなど各地のメジャージャズフェスティバルで演奏する。2000年、奨学金を得てパークリー音楽大学入学、「神童」「次世代のモーツァルト」と評される。2003年、同大学卒業後、Fletcher Musicカンパニーを立ち上げる。  
これまでの主な共演歴はCarl Allen, Darren Barrett, Bill Berry, Terence Blanchard, Dee Dee Bridgewater, Terry Lynn Carington, John Clayton, Ray Drummond, Jon Faddis, Roy Hargrove, Donald Harrison, Antonio Hart, Freddie Hubbard, Jevon Jackson, Abe Laboriel, Jackie McClean, Lewis Nash, Nicolas Payton, Joshua Redman, Christian Scott, Terrel Stafford, Clark Terry, Bobby Watson, Ambrose Akinmusire, Warren Wolfなど多数。  
現在、Monterey Jazz Festival、Lionel Hampton International Jazz Festivalと協力してプロジェクトを進行中。  
フレッシュ、エキサイティング、クリエイティブなミュージックを生み出すために情熱を注いでいる。



**Marco Panascia**  
マルコ・バナシア (Bass)

イタリア生まれ、ニューヨーク在住。  
パークリー音楽大学卒業。奨学金を得てマンハッタンスクールのミュージックで修士号取得。ソニー BMGレーベルの若手ピアニスト、Eldarのメンバーとして、彼の2枚のアルバムに参加する。2008年、そのアルバムがベストコンテンポラリージャズアルバムとしてグラミー賞にノミネートされる。その後、アメリカ、ヨーロッパ、アジアの世界各地をツアーし国際的に脚光を浴びるようになった。L.A.の伝説的なスタジオミュージシャン、Carol Kaye氏に師事し、「驚異的なベーシスト」と紹介される。1998年、スコットランドで開かれた、エディンバラ国際ダブルベースコンペティションで優勝する。アコースティック、エレクトリックベースの両方を操り、コンテンポラリージャズを中心に様々なジャンルをこなす。  
現在、Kenny Barron, Natalie Cole, Kevin Mahogany, Andy Bey, Eric Reed, Dado Moroniのグループで活躍中。  
Montreux Jazz Festival, Umbria Jazz Festival, Hollywood Bowl, Kennedy Center for the Performing Artsなどの舞台に立つ。  
このほか、Herbie Hancock, Lee Konitz, Joe Lovano, Quincy Jones, Bobby McFerrin, Dave Liebman, Roy Hargrove, Chris Botti, Gary Burton, Seamus Blake, Peter Erskine, Adam Nussbaum, Alvin Queen, Lewis Nash, Tamir Hendelman, Bobby Watson, Peter Bernstein, Claudio Roditi, David Kikoskiなど、著名なミュージシャンとの共演でも知られている。  
Markbass社のアンプ、Mike Lull社のカスタムエレクトリックベース、Thomastik社のベース弦、David Gage社のCzech-Easeアコースティックロードベース、Alter Egoアコースティック・エレクトリック・アップライトベースなどをエンドースメント契約している。  
www.marcopanascia.com



**Mark Whitfield Jr.**  
マーク・ホイットフィールド・ジュニア (Drums)

マーク・ホイットフィールドJr.は、ドラマーの卵だった幼いマークJr.にいつも語りかけてきたギタリストである彼の父マーク・ホイットフィールドによって音楽の世界へと導かれた。マークJr.は父のギグに参加してエア・ドラムをすることで直ぐに上達していった。マークJr.は現在24歳で、パークリー音楽大学を卒業し、ニューヨークを拠点に世界中で演奏をしている。彼はニューヨークに移ってから、マイロン・ウォルデン、ウォーレス・ロニー、マーク・ホイットフィールド、ジョー・ロバーノらとも共演しアルバム「Pushing The World Away」でグラミーにノミネートされたケニー・ギャレットとレコーディングを行ってきた。マークはCanopusドラムスのエンドーサーである。



Special Thanks to  
Denjiro Sato (Banzai Films Hawaii)  
Shinji Ohagi, Tetsuro Nagase  
Flyer Design: Yasumi Uno (Studio Mijas)